



NEWS LETTER

Ver. 2013. 04



TRAM SYSTEM

今月のコンテンツ



データセンター

◎ データセンターに新税制スタート

- ・データセンター地域分散化促進税制が始まる



IT化

◎ 日本のIT活用レベルは低い？

- ・IT化が進んでいる国に学ぶ



ウイルス

◎ スマホウィルスの脅威

- ・Google Play の Android アプリは4分の1が危険 !?

4月も半ば、ようやく暖かくなってきたという感じでしょうか。
今年は桜の季節に雨が多く、散るのが少し早かったですね。
でも4月の雨が5月の薔薇を咲かせると言います、来月は薔薇園に
足を運んでみるのもいいかもしれませんね。
さて、今月は海外の**IT技術の活用**に着目しIT化によって何がどう
変わるのか、身近なことからご紹介して行きたいと思います。



さくら

◎ データセンターに新税制スタート

データセンター地域分散化促進税制が始まる

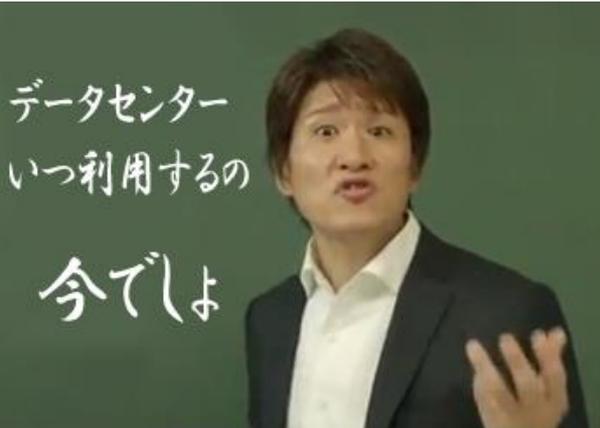
総務省は、2013年4月から同税制を開始させました。期間は2015年3月までの2年間となります。

東日本大震災でサーバーが津波に流され、地方自治体や企業で重要なデータが大量に失われました。米ニューヨークの大型ハリケーン「サンディ」ではデータセンターが浸水で停電し、大手有名サイトが複数ダウンしました。自然災害の直撃に対し、ITシステムは脆弱な一面を持つことが浮き彫りになりました。

日本国内ではデータセンターの大部分が東京圏に立地し、ITシステムの中核が一極集中している状況です。総務省では首都直下地震が起こった場合を想定し、地方のデータセンターへ分散することで、財産とも言うべき様々な情報を守る政策を打ち出しました。



Facebookで62万回以上シェアされた
合成画像



具体的な措置内容は、対象となる設備投資の所得価額の**15%**を**特別償却**できることです。設備投資した初年度は、その金額を損金に算入し、法人税の課税対象となる所得金額から差し引くことができます。

特別償却できる設備としては、サーバー、ルーター、スイッチ、UPS(無停電電源装置)、非常用発電機となります。

税制の利用対象としてはバックアップサービスが対象となりますが、必ずしも地方にデータセンターを自社保有している必要はなく、ほかの事業者の場所貸しサービスを利用して、サーバーやルーターを持ちこんで設置するケースも優遇措置の対象となります。

◎ 日本の IT 活用レベルは低い？

日本のIT技術は、ゲームソフトや家電品、ロボット、検査装置など世界でもかなり高い水準の技術力と発想力を持っていると言えます。が、それらを一般企業や個人にまで落とし込み、身近なものをIT化していく**IT活用**がIT先進国に比べるとかなり遅れています。オランダと韓国の事例を基に考えて行きましょう。



オランダは子供の幸福度で先進国 1位



こちらの写真はトマト農家の方のシステム管理室です。

これも立派な農作業なんですが、暇な時間に株やってる人にしか見えませんか。。

・IT活用 先進国オランダ

オランダの農地面積は日本の40%程度しかないのにもかかわらず、オランダの農産物輸出額は世界第2位という高い水準にあります。ちなみに日本はというと47位です。

オランダでは、たとえばトマトは土を使わずに水耕栽培をしています。グリーンハウスという温室のなかで、温度や湿度、水の成分、太陽光を代替したLED照明などを全てITコントロールすることで生産性を10倍にも高めています。

収穫作業はロボットに任せて人手を最低限にする「効率化」にも積極的に取り組んでいます。農業全体のシステム化率は大小あれど100%と言われています。土を全く使わない農業は全体の80%にも上るそうです。まさに農業を国レベルで「工業化」していると言えるでしょう。

◎ 日本の IT 活用レベルは低い？

・韓国の病院のIT化に驚愕

90年代後半に国策として打ち出したITインフラ強化以来、国のIT化が進んでいます。IT技術としては日本も負けてはいませんが、身近なIT活用の普及率では大きく差を開けられていると感じます。

その最たる例が医療システムのIT化です。

例えば患者が薬を処方するだけであれば、スマートフォンから病院へ処方依頼をすると、処方箋が患者の家の近くの薬局に送られてきます。患者はわざわざ薬をもらう為だけに病院へ行かなくても済むわけです。



日本は電子カルテの普及もまだ2割程度

外来患者の精算窓口には自動支払機を導入しているため、支払いを待つ必要もありません。さらに、「国民ID」を活用することで、支払った費用が自動的に所得税の「医療費控除」に計上されます。

病院間の情報連携も実によく取れており、手術後の経過処置などを患者の近くの病院で行う際には、手術した病院から検査の情報も含めて全ての情報が送られてきます。他にも、外来患者の待ち時間を短くするためにマネジメントスタッフが外来患者の待ち状況を注視して、リアルタイムで調整していきます。その結果、病院の外来コーナーで待っている外来患者はほとんどいないそうです。

このように韓国の病院は、ITによって見事に患者へのサービスを高度化しています。日本では未だに診察までに何時間も待たされ、支払窓口でまた待たされるといったのが現状です。IT化が遅れているのは明白ですが、それだけやれることもまた多く、同業種のなかで差別化が図れるチャンスであるとも感じます。



アメリカではすでに1500台が出荷されている医療ロボットです。さすがはIT大国アメリカといった感じですね。

◎ スマホウィルスの脅威

・Google Play の Android アプリは4分の1が危険 !?



米Strategy Analytics が2013年1月28日に発表した調査によりますと、2012年世界で出荷されたスマホ台数は7億10万台で、2011年の4億9050万台から43%増加しています。中でもAndroidは世界のスマホ出荷のシェアが70%を超えています。日本でも60%を超えています。

拡大していくAndroidのスマホシェアとともに、「問題がある」アプリケーションも増え続けており、セキュリティーベンダーの米Bit9が2012年11月に発表した調査によりますと、デジタルコンテンツ配信サービス「Google Play」に登録されているAndroid向けアプリの4分の1はセキュリティー侵害を引き起こす可能性があるといいます。

では、実際に感染してしまった場合にどのような障害が発生するのでしょうか。現在報告されている被害を見て行きましょう。

- ・数分おきに架空請求画面が強制的に表示される
- ・端末の電話番号や位置情報が勝手に送信される
- ・電話帳に登録されている電話番号やメールアドレスを吸い上げられる
- ・盗聴や遠隔操作をされてしまう
- ・有料アプリを勝手にインストールし続ける

下の2行は恐ろしいですね・・。

Androidを使っている方は是非ともウィルス対策ソフトを入れて頂きたいところですが、フリーウィルス対策ソフトの場合、そのソフト自体が有害なソフトウェアだったりするので、お金を出してでも実績のあるウィルス対策ソフトを入れておくことをおすすめします。



お使いの携帯がスマホで無かったとしても、従業員の個人携帯を会社で利用するBYOD化が進んでいる以上、スマホ特有のリスクを皆が知っておく必要があります。次回では最新のスマホリスクから、その対策や業務活用するときの注意点などをまとめてご紹介していきます。

◎ トラムニュースレター バラまきキャンペーン開催！

毎月ご愛読頂いているお客様の声

『あの～あれ、、あの緑のやつ、あれ大阪の拠点にも送っというてもらえる？』

『あの毎月送ってきてくれるやつ、なんていったっけ、緑のやつ、
移転したから住所変更しというてね？』

『今月も緑のあれおもしろかったですよ～、結構勉強になるんですよ～』

あ～はいはい、**トラムニュースレター**のことですね！？

もうニュースレターの名前を『緑のあいつ』にでも改名しようかと正直悩んでおりますが…。

それはさておき！毎度最後まで読んで頂き、本当にありがとうございます！！



ちなみに このロゴはイタチや
カワウソではなく…。
一応トラですので…。

今や IT、通信の分野はどんな業種でも切り離せない程、重要なポジションを占めるようになっていますが、イチから学ぶにはあまりに膨大で、横文字ばかりで小難しいことが並び立てられている雑誌が本当に多いです。緑のやつはそんな方にも読みやすく、それでいて IT や通信の最先端情報を時には茶目っ気を交えつつご紹介して参りました。

今までは、基本トラムシステムがお取引させて頂いている企業様や個人の方にしかニュースレターは配布していませんでしたが、『知り合いに送ってもらえない？』『兄の会社にも送って欲しい』『別部署にも送ってもらえませんか？』などなどお声掛け頂く事が増えて参りましたので、ここはひとつ **Tram News Letter 紹介キャンペーン**として広くニュースレターの事を知って頂こう！ということになりました。

別紙ご紹介カードにて配布先をご紹介頂いた方には、500円分のクオカードをご紹介様分プレゼントさせていただきます。もちろん電話でのご紹介でも大丈夫です。



・同企業内でのご紹介は、誠に申し訳ございませんがキャンペーン対象外とさせていただきます。

※配布することは可能です。



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : info@tramsystem.jp